

表1 主要形質の調査結果

形 質		北見33号 クンプウ		備 考	形 質	北見33号 クンプウ		備 考		
出穂始		6月3日	6月3日	6場所 ¹⁾ ・2力年平均 ^{2,3)}	草丈(1番草、cm)	85	84	6場所・2力年平均 ²⁾		
越冬性 ⁴⁾		6.2	5.8	6場所・2力年平均 ²⁾	草丈(2番草、cm)	81	80	〃		
早春草勢 ⁴⁾		6.4	5.6	〃	草丈(3番草、cm)	58	61	〃		
耐寒性特性 検定試験 ⁵⁾	耐病性 耐寒性	強	強	2力年(2、3年目)総合判定	出穂程度 ¹³⁾ (1番草)	3.7	3.9	4場所 ¹⁴⁾ ・2力年平均 ²⁾		
		強	強	〃	出穂程度(2番草)	4.4	4.3	6場所・2力年平均 ²⁾		
斑点病罹病程度 ⁶⁾		3.1	3.6	6場所平均	出穂程度(3番草)	2.5	3.3	〃		
すじ葉枯病罹病程度 ⁶⁾		2.9	3.2	4場所 ⁷⁾ 平均	個 体 植 植 試 験	茎数 ¹⁵⁾ (1番草)	6.6	4.6	個体植 ¹⁶⁾ ・2力年平均 ²⁾	
倒伏程度 ⁸⁾		3.6	4.1	耐倒伏性検定試験 ⁸⁾		穂長(1番草、cm)	11.6	10.8	〃	
番草別		1番草	(107)	447		6場所・2力年平均 ²⁾	葉長 ¹⁷⁾ (1番草、cm)	24.3	21.3	〃
乾物収量 ⁹⁾		2番草	(114)	231		〃	草勢 ⁴⁾ (1番草)	7.7	5.2	個体植 ¹⁶⁾ ・2力年平均 ²⁾
(kg/10a)		3番草	(99)	187		〃	草勢(2番草)	6.6	4.5	〃
混播 試験	マメ科率 (%DM)	RC混播 ¹⁰⁾	65	79	北見農試・2力年平均 ²⁾	草勢(3番草)	6.0	4.4	〃	
		WC混播	27	31		〃	TDN ¹⁹⁾ (1番草、%DM)	63.8	64.2	3回の調査の平均 ¹⁸⁾
種子収量(kg/10a)			41.5	27.8	北見農試・2力年平均 ²⁾	TDN(2番草、〃)	62.4	63.0	〃	
夏播 き試 験	越冬性 ⁴⁾	8月下旬 ¹¹⁾	7.0	5.9	北見農試・2回播種 ¹²⁾ の平均	TDN(3番草、〃)	67.4	66.8	〃	
		9月上旬	5.0	3.8	〃	CP ²⁰⁾ (1番草、〃)	10.5	10.9	3回の調査の平均 ¹⁸⁾	
		9月中旬	2.7	1.9	〃	CP(2番草、〃)	8.4	8.9	〃	
	1番草 乾物収量 (kg/10a)	8月下旬 ¹¹⁾	510	479	北見農試・2回播種 ¹²⁾ の平均	CP(3番草、〃)	9.1	9.4	〃	
		9月上旬	279	239	〃	NDF ²¹⁾ (1番草、〃)	64.6	63.2	3回の調査の平均 ¹⁸⁾	
		9月中旬	145	94	〃	NDF(2番草、〃)	64.4	61.3	〃	
						NDF(3番草、〃)	52.7	53.2	〃	

1) 天北(浜頓別)、根釧(中標津)、北見(訓子府)、畜試(新得)、北農研(札幌)、ホクレン(帯広)。2) 播種後2、3年目の平均値。3) 天北、北見は2年目の結果による。4) 極不良1-極良9。5) 根釧農試。“耐病性”は雪腐病、“耐寒性”は凍害に対する耐性。クンプウを「強」とした判定の結果。6) 無または極微1-甚9。7) 根釧、北見、畜試、北農研。8) 無または微1-甚9。早春の窒素追肥量で標準区(0.75kg/a)、多肥区(1.50kg/a)の2処理を設け、6月中旬に調査した結果。2処理・2力年(2、3年目)の平均値。9) 「北見33号」は「クンプウ」比(%)を示した。10) RC:アカクローバ、WC:シロクローバ、1-3番草の平均値。11) 播種期。12) 2015年と2016年の2回播種を行い、それぞれ翌年に調査した。13) 無1-極多9。14) 天北、北見、北農研、ホクレン。15) 極少1-極多9。16) 個体植条件(畦間0.75m×株間0.60m)。80個体の平均値。北見農試。17) 止葉下第1葉の長さ。18) 地域適応性検定試験(ホクレンの2、3年目と北見の3年目の計3回)における各分析結果の平均値。19) 可消化養分総量(NRC2001推定式)。20) 粗タンパク質(化学分析)。21) 中性デタージェント繊維(化学分析)。

表2 年次別の年間合計乾物収量(対「クンプウ」比)¹⁾

年次	品種・系統	天北	根釧	北見	畜試	北農研	ホクレン	平均
1年目 ²⁾	北見33号	112	92	96	100	128	105	103
	クンプウ	328	113	556	643	145	629	402
2年目	北見33号	105	108	112	109	110	99	106
	クンプウ	851	807	757	920	945	1203	914
3年目	北見33号	115	108	104	110	105	107	108
	クンプウ	681	969	733	817	771	923	816
2力年 ³⁾	北見33号	110	108	108	109	107	102	107
合計	クンプウ	1531	1776	1490	1737	1716	2126	1729
3力年	北見33号	110	107	105	107	109	103	106
合計	クンプウ	1859	1888	2046	2380	1861	2755	2132

1) 「クンプウ」は実数値(kg/10a)、「北見33号」は「クンプウ」比(%)。2) 1年目の根釧は3番草、北農研は2番草のみ調査。3) 2、3年目。

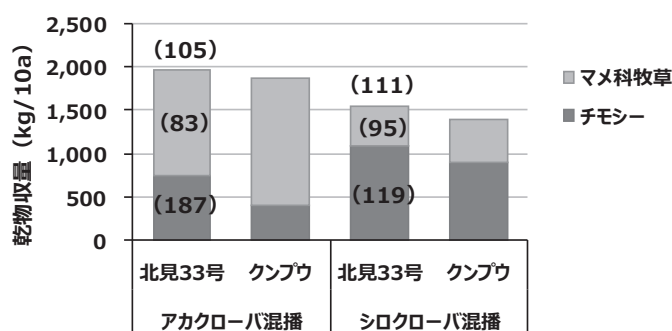


図1 マメ科牧草混播条件下における2力年(2、3年目)合計の乾物収量(kg/10a)

(注1) アカクローバは「リョクユウ」、シロクローバは「ソーニヤ」を混播した。

(注2) 「北見33号」に付したカッコ内の数値は対「クンプウ」比(%)。下から、チモシー、マメ科牧草、チモシーとマメ科牧草との合計の乾物収量の比を示す。

詳しい内容については、次にお問い合わせ下さい。
 道総研北見農業試験場 研究部 作物育種グループ 藤井 弘毅
 電話 (0157) 47-2633 FAX (0157) 47-2774
 E-mail: fujii-hiroki@hro.or.jp